

近畿地方整備局 入札監視委員会（第二部会） 平成30年度第1回審議概要

開催日及び場所	平成30年6月13日（水） 大阪合同庁舎第1号館 第1別館2階 203供用会議室		
委員	芥川真一（神戸大学大学院工学研究科教授 第二部会長） 瀧 圭吾（神戸大学大学院法学研究科教授 第二部会長代理） 米田和史（米田会計事務所 公認会計士・税理士 今回抽出担当者） （五十音順）		
審議対象期間	平成30年1月1日 ～ 平成30年3月31日		
報告事項	①発注状況報告 ②指名停止措置の運用状況報告 ③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告 ④再度入札における一位不動状況報告 ⑤低入札価格調査制度対象工事の発生状況報告	（備考） ・①～⑤について、整備局資料に基づき説明を行った。	
審議事項	総件数	（備考）	
①抽出案件	4件	[抽出件名]	
<工事>			
一般競争入札方式 （WTO対象）	1件	・神戸港六甲アイランド地区荷さばき地耐震改良工事	
一般競争入札方式 （WTO対象外）	2件	・大阪港北港南地区岸壁（-16m）（C12延伸）埋立工事（第2工区） ・和歌山下津港海岸（海南地区）日方水門取付護岸築造工事（第2工区）	
<業務>			
随意契約方式	1件	・舞鶴港和田地区道路（上安久線）用地測量等業務	

	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【報告事項】</p> <p>①発注状況報告</p> <p>②指名停止措置の運用状況報告</p> <p>③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告</p> <p>④再度入札における一位不動状況報告</p> <p>⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告</p> <p>・質問なし</p>	

意見・質問	回答
<p>【審議事項】</p> <p>1. 一般競争入札方式（WTO対象）</p> <p>「神戸港六甲アイランド地区荷さばき地耐震改良工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ RC 6～7 全体に対して、施工済みの範囲はどれくらいの割合ですか。</li> <li>・ 施工済みの箇所は別の業者が施工したのでしょうか。</li> <li>・ 同じ業者が施工したほうが効率的ではないのでしょうか。</li> <li>・ 業者が替わったときには、機械や下請け業者も入れ替わるのでしょうか。</li> <li>・ 競争参加資格要件のサンドコンパクションパイル工法による砂杭2,100本という数字の基準はどういったものなのでしょうか。</li> <li>・ RC 6～7 の耐震工事を進めていく中で、技術提案のレベルはあがっているのでしょうか。</li> <li>・ 落札者の指定テーマ B の点数が非常に高いのは画期的な新しい提案がなされたということでしょうか。</li> <li>・ 落札者の技術提案がやはり他社に比べて良かったのでしょうか。</li> <li>・ 価格が高くても技術点が高いため、落札できたということですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 分の 1 程度です。</li> <li>・ そのとおりです。</li> <li>・ 単年度予算で実施しているため、単年度で施工できる範囲で行っています。</li> <li>・ 替わる場合とそうでない場合と両方あります。</li> <li>・ 当該工事で施工する数量の 7 割を目安としています。</li> <li>・ 業者側からすれば工夫をしていると考えられますが、その結果、必ずしも点数が上がるわけではないと思います。</li> <li>・ 他社と比べ非常に高く評価される提案だったと考えます。</li> <li>・ 1 つの提案のみの結果ではなく、会社の施工実績や技術者の評価等を総合的に判断した結果です。</li> <li>・ そのとおりです。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>2. 一般競争入札方式（WTO対象外）</b> 「大阪港北港南地区岸壁（-16m）（C12延伸）埋立工事（第2工区）」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 載荷盛土をしていますが、何年間くらいこのままなのでしょうか。</li> <li>・ 無効になった業者についての事務手続きですが、入札日に無効が明らかになったということでしょうか。</li> </ul> <p>「和歌山下津港海岸（海南地区）日方水門取付護岸築造 工事（第2工区）」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベースによる対象者数が21者と少ないのはなぜでしょうか。</li> <li>・ 入札参加業者が少なかったのは何か要因があるのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半年から1年弱ほどです。</li> <li>・ そのとおりです。開札後、施工体制確認のための調査依頼を行ったが、業者側が辞退されたので、無効となりました。</li> <li>・ 和歌山に本店等を有している企業が対象であり、またA（中小）等級までであるため、他の工事よりは少し少なくなっています。また、データベースで20社程度いれば概ね競争性が確保できると考えています。</li> <li>・ A（中小）等級の業者自体が少ないためだと考えます。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>3. 随意契約方式</b> 「舞鶴港和田地区道路（上安久線）用地測量等業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西舞鶴道路と一体的な事業となっていますが、福知山河川国道事務所と共同発注する可能性はあったのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に地元の合意が双方とれていれば共同で発注することも想定されました。しかしながら、臨港道路は地元協議が継続中であったため、今回は別々の発注となりました。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>4. 全体を通して</b> ・ 質問なし。</p>	